

世界武徳祭記念祝宴会に参加して

至誠館

渡邊

佳代子

京都・東山のウエスティン都ホテル京都において四月二十八日、第五回世界武徳祭開会式ならびに記念祝宴会が世界二十一カ国から七百有余名の参加者を迎えて盛大に開催されました。殊に三笠宮の彬子女王殿下に御参向賜りました。式典に引き続き、記念祝宴会が催され、開宴に際し、女王殿下には参列者が起立の中、御臨席遊ばされました。主催者を代表して東伏見慈晃総裁が開会の式辞を述べられ、山田啓二京都府知事より御祝辞を賜り、門川大作京都市市長の乾杯の御発声によつて和やかに祝宴が饗されました。途中、辻野正勝元理事長による祝い吟と漢詩、独楽こまによる演奏が賑々しく披露され、この大会を心待ちにしていた多くのご参列の方々から拍手と歓喜の声が湧き立ち、祝宴会場は祝福の大きな慶びに溢れかえりました。

このたびは凶らずも女王殿下御案内役という大役を仰せつかり、身に余る大役であり身の引き締まる思いでお受けいたしました。決して粗相は許されないと何度も入念に習礼を行いました。

開会式当日、ホテル正面玄関にてお迎え申し上げ、貴賓室、式場まで御案内させていただきました。御移動の間は、これ以上ない心の高ぶりを感じつつ、とりわけ特別な精神状態で、感激のうちにも、必死

に周囲を歩ませていただきました。

宴席では、御来賓席にて女王殿下の隣席に着かせていただきました。和服を召された女王殿下には凛とされた御姿の中にも、その面持ちは優美で温かく、夢のようなひとときを過ごさせていただきました。

御歓談のなかで、本大会を前に国際部による青龍殿奉納演武大会が催されたことにふれられ、先平方の演武の素晴らしさに心に残る大会であったことが話題となり、翌日の本大会への御観覧が決まりました。女王殿下への拜謁が叶い、和楽の笑顔が満ち満ちて、共々に祝福の慶びを分かち合うことが出来ましたことは、参加者にとりましても、大日本武徳会にとりましても歴史に残る特別な世界武徳祭となりました。生涯忘れ得ざる経験をさせていただきました。ありがとうございました。